

NEW PicoLog Cloud。どんなデバイスでも、どこでも、無料でライブキャプチャーを表示・保存できます。



画像をクリックすると高解像度の画像が表示されます。

即時リリース用。

2021年9月^{14日}、PCベースのテスト&メジャメント製品のマーケットリーダーであるPico Technology社は、本日、PicoLog Cloud®データロギングソフトウェアの一般提供を開始したことを発表しました。このソフトウェアにより、Picoデータロガーやリアルタイムオシロスコープは、データをローカルディスクに保存したり、キャプチャを安全なオンラインクラウドストアに直接ストリーミングしたりすることができます。

これにより、ソースPC上でキャプチャーをセットアップしてコントロールし、ソフトウェアを実行している任意の数のクライアントデバイス上でリモートで表示することができます。また、インターネットに接続されているPCやタブレット端末であれば、標準的なブラウザを使って、ライブキャプチャーや過去に保存したキャプチャーを見ることができます。

PicoLog Cloudは、シンプルなサーバーサイドAPIにより、データロガーやオシロスコープのライブキャプチャデータを、キャプチャの実行中にサードパーティのアプリケーションに転送することができます。PicoLogデータがサーバー上に存在するため、このAPIを使ってプログラマーはデータを一括して要求することができます。この機能は、アラームやキャプチャの電子メール送信、データの別の方法でのプロット（フィルタバンク、スロットルニードル、大きな数値表示など）、既存のデータベースへのロガーデータの追加など、追加機能の追加を希望するユーザーにとって特に便利です。

Pico Technology社のプロダクトマネージャー、Kieran Winstanley氏は、「この新機能は、シンプルなユーザーインターフェースを備えたデータロギングアプリケーションを作るという我々のビジョンに忠実であり、技術者でも非技術者でも同じように簡単に使用できます」と語り、「新しいクラウドサービスは、新規および既存のすべてのお客様に対して完全に無料です」と付け加えました。

リモートワーク、重要なプロセスのモニタリング、実験データの共有、予防保全、ビッグデータ収集によるデザインインテグリティ、コンプライアンス、セキュリティなどは、科学・研究・製造機関にとって重要な課題です。これらの課題は、次世代の技術やプロセスに取り組むエンジニアや科学者にとって複雑さを増します。PicoLog Cloudは、科学データの収集、共有、分析をシンプル、迅速、かつ柔軟に行うことで、これらの課題に直接対応します。

クラウドデータへのアクセスは、シングルサインオン（SSO）プロトコルによって管理されます。PicoLog Cloudでは、最新のセキュリティ技術とプロセスを用いて、オンラインデータとユーザー認証情報の安全性を確保しています。

PicoLog Cloudの対応デバイスは、高解像度・高精度の電圧ロガー「ADC20/24」、温度ロガー「TC-08」「PT-104」、AC RMS電流ロガー「CM3」など。また、現在のリアルタイムPicoScopeの全モデルにも対応しています。

PicoLogクラウドクライアントは、Windows 8、8.1、10（32および64ビット）、macOS、Linux（64ビット）、およびRaspberry Pi 4用のRaspberry Pi OS（32ビット）で利用できます。完全に機能する安定版リリースのソフトウェアは、次のサイトから入手できます：<https://www.picotech.com/downloads>